

夜間中学に関するアンケート調査結果

1 調査目的

夜間中学に関する認知度等を調査し、潜在的な課題やニーズを可視化させ、設置に向けた今後の方向性を検討するための基礎資料とする。

2 調査方法等

○調査期間：令和7年10月22日（水）～11月4日（火）

○調査方法：インターネットを利用したアンケート

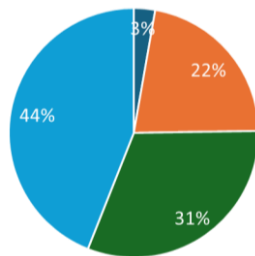
○回答者：400人（男性195人・女性205人、18～79歳の県内在住者）

居住地域	女性					女性 集計	男性					男性 集計	総計
	18～29歳	30代	40代	50代	60代以上		18～29歳	30代	40代	50代	60代以上		
松山地区	14	14	19	17	36	100	14	13	18	15	31	91	191
西条・新居浜・宇摩	5	6	8	8	19	46	6	7	9	8	16	46	92
今治	3	3	4	4	11	25	3	3	4	4	9	23	48
宇和島	1	2	3	3	7	16	1	2	3	3	7	16	32
八幡浜・大洲	2	2	3	3	8	18	2	2	3	3	9	19	37
総計	25	27	37	35	81	205	26	27	37	33	72	195	400

3 調査の概要

【認知度】夜間中学自体や対象層の認知度は低く、約75%が「名前だけ/全く知らない」と回答。

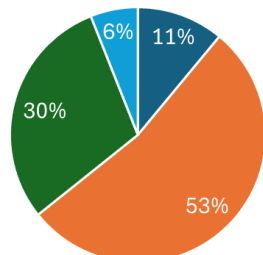
Q1. 夜間中学についてどの程度知っていましたか。



回答	人数(人)	割合(%)
よく知っていた	11	2.8
ある程度知っていた	88	22.0
名前だけ聞いたことがあった	125	31.2
全く知らなかった	176	44.0

【必要性】「必要性を感じる」県民は約64%（「強く感じる」11%、「ある程度感じる」53%）。

Q5. 夜間中学について、どの程度必要性を感じますか。



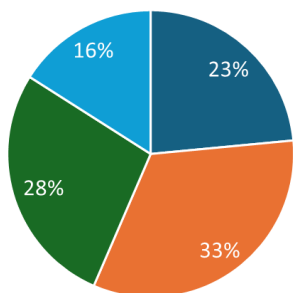
回答	人数(人)	割合(%)
強く必要性を感じる	44	11.0
ある程度の必要性を感じる	213	53.3
あまり必要性を感じない	119	29.7
全く必要性を感じない	24	6.0

【設置に関する県民の考え】

○少数派への配慮かつ現実的条件を求める声が同程度存在。県民の合意形成には議論・丁寧な説明が必要である。

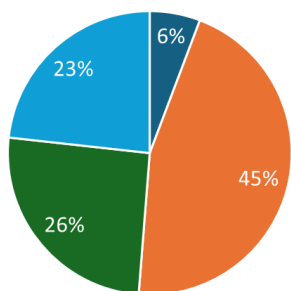
○他施策（学力、不登校、外国人児童生徒、ICT等）とのバランスが重視されており、様々な施策を組み合わせた設計が求められる。

Q16. 夜間中学は多様な人の学び直し場となりますが、入学希望者がごく少数の場合でも設置する必要があると思いますか。



回答	人数(人)	割合(%)
少数でも設置すべき	94	23.5
人数次第で設置すべき	132	33.0
他の方法で対応すべき	110	27.5
分からない	64	16.0

Q17. 現在取り組んでいる本県の教育施策には、学力向上、不登校児童生徒への支援、外国人児童生徒への支援、ICT教育など様々あります。夜間中学の設置は、それらと比べてどの程度優先されるべきだと思いますか。



回答	人数(人)	割合(%)
最優先にすべき	23	5.8
他の施策と同じくらい優先すべき	182	45.4
他の施策を優先すべき	102	25.5
分からない	93	23.3

4 考察・今後の課題

【認知度の啓発】

夜間中学の意義の周知不足が課題。県民・潜在的对象者へ啓発活動を推進する必要。

【ニーズの明確化】

学び直し層の実態把握と利用意向調査による規模感の明確化。

【既存事業との連携】

定時制・通信制高校、日本語教室等との役割分担・連携モデルの検討。

【財政・運営面】

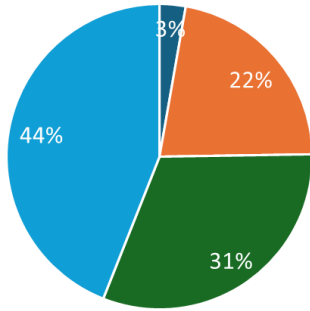
利用規模や費用対効果の事前評価、持続可能な運営体制設計。

【多様なニーズ対応】

外国人・高齢者等も含めた柔軟な事業設計。

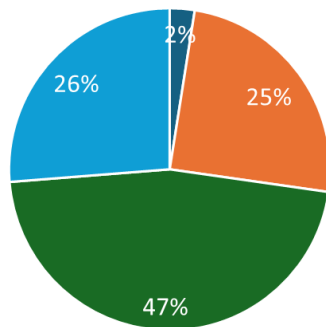
5 アンケート結果

Q1. 夜間中学についてどの程度知っていましたか。



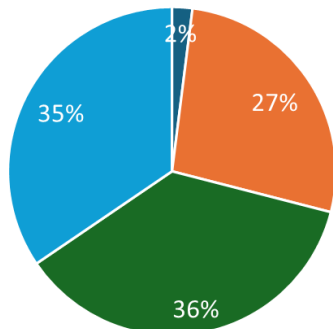
回 答	人数(人)	割合(%)
よく知っていた	11	2.8
ある程度知っていた	88	22.0
名前だけ聞いたことがあった	125	31.2
全く知らなかった	176	44.0

Q2. 夜間中学と、定時制高校や日本語教室の違いをどの程度分かりますか。



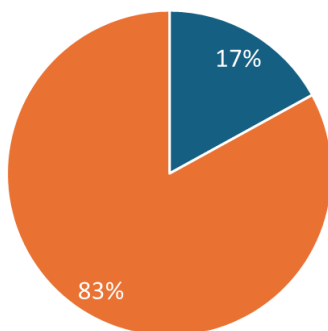
回 答	人数(人)	割合(%)
よく分かる	10	2.5
ある程度分かる	99	24.8
あまり分からない	186	46.4
全く分からない	105	26.3

Q3. 夜間中学がどのような人のための学校か、どの程度知っていましたか。



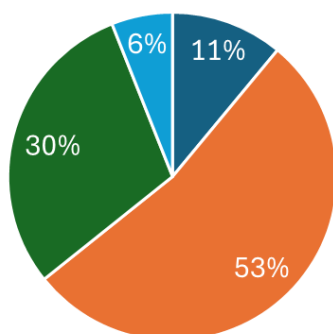
回 答	人数(人)	割合(%)
よく知っていた	8	2.0
ある程度知っていた	108	27.0
あまり知らなかった	146	36.5
全く知らなかった	138	34.5

Q4. 愛媛県には現在、夜間中学がないことを知っていましたか。



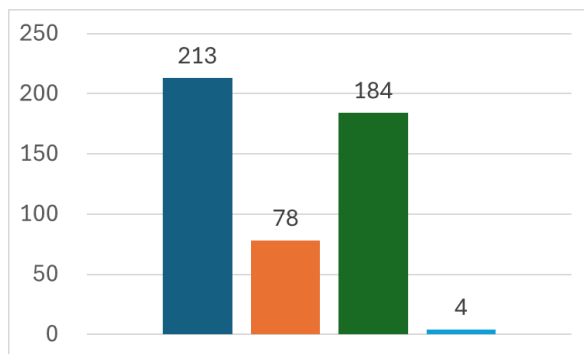
回 答	人数(人)	割合(%)
知っていた	68	17.0
知らなかった	332	83.0

Q5. 夜間中学について、どの程度必要性を感じますか。



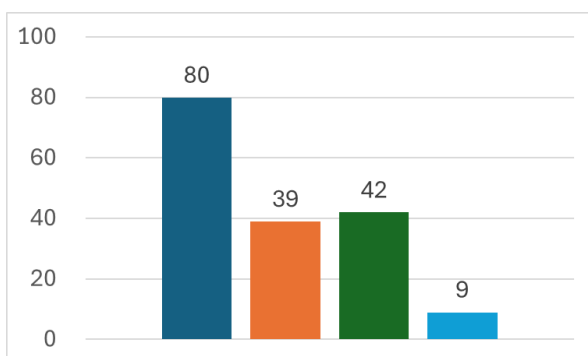
回 答	人数(人)	割合(%)
強く必要性を感じる	44	11.0
ある程度の必要性を感じる	213	53.2
あまり必要性を感じない	119	29.8
全く必要性を感じない	24	6.0

Q6-1. 必要性を感じる理由は何ですか。Q5で「必要性を感じる」と回答した257人が回答（複数選択可）



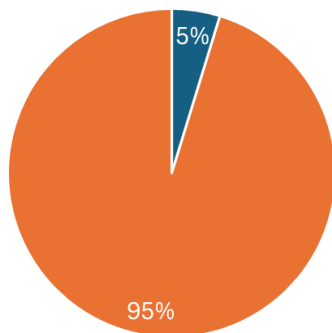
回 答	人数(人)	割合(%)
学び直したい人のため	213	82.9
外国籍の方のため	78	30.4
不登校経験者のため	184	71.6
その他	4	1.6

Q6-2. 必要性を感じない理由は何ですか。Q5で「必要性を感じない」と回答した143人が回答（複数選択可）



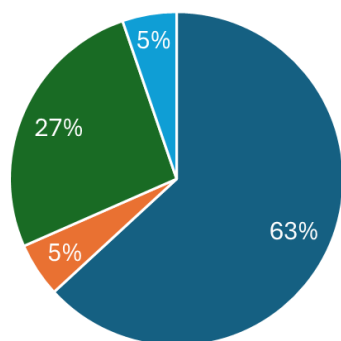
回 答	人数(人)	割合(%)
利用者が少ないため	80	55.9
既存の制度で対応可能であるため	39	27.3
多額の運営費が必要であるため	42	29.4
その他	9	6.3

Q7. 夜間中学について、ご自身やご家族・身近な人で、利用したい人はいますか。



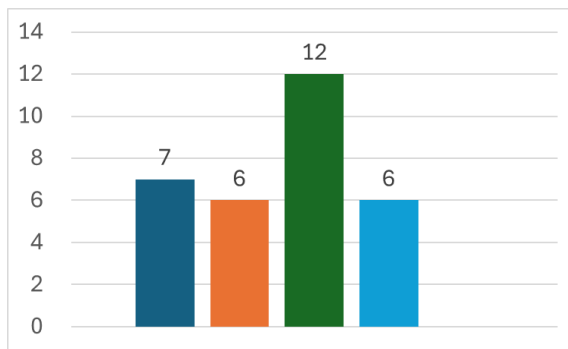
回 答	人数(人)	割合(%)
はい	19	4.8
いいえ	381	95.2

Q8. 利用したい人は誰ですか。Q7で「はい」と回答した19人が回答



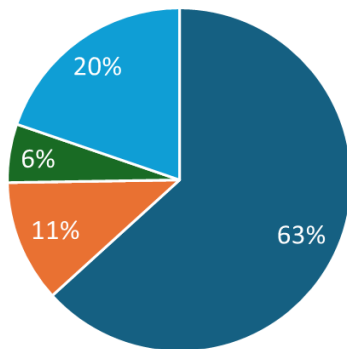
回 答	人数(人)	割合(%)
自分	12	63.1
家族	1	5.3
身近な人	5	26.3
その他	1	5.3

Q9. 利用したい目的は何ですか。Q7で「はい」と回答した19人が回答（複数選択可）



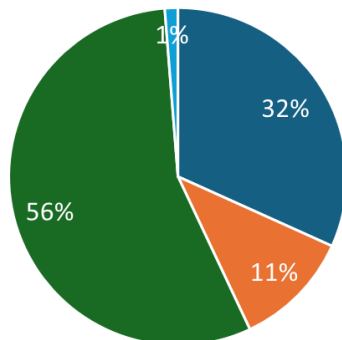
回 答	人数(人)	割合(%)
読み書き・計算の基礎の習得	7	36.8
日本語の習得	6	31.6
資格・高卒認定につながる学び	12	63.2
友人づくり・居場所づくり	6	31.6

Q10. 夜間中学が設置された場合、どの程度の時間なら通学が可能だと思いますか。（片道）



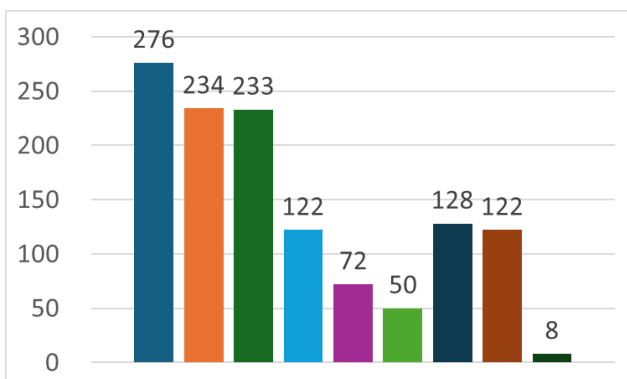
回 答	人数(人)	割合(%)
自宅から(自転車で)30分以内	253	63.2
自宅から(自転車で)1時間以内	46	11.5
通学時間に関わらず通える	22	5.5
通学は難しい	79	19.8

Q11. 授業の実施形態として望ましいのはどれだと思いますか。



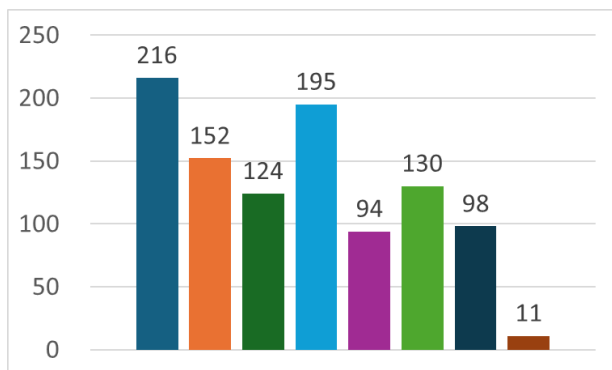
回 答	人数(人)	割合(%)
対面授業	127	31.7
オンライン授業	45	11.3
対面+オンライン授業	223	55.7
その他	5	1.3

Q12. 通学や学びのさまたげになりそうなことは何だと思いますか。（複数選択可）



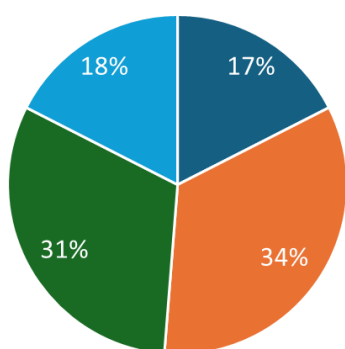
回 答	人数(人)	割合(%)
仕事の都合	276	69.0
交通・距離	234	58.5
費用負担	233	58.3
子どもの預け先	122	30.5
体調	72	18.0
日本語の不安	50	12.5
学校が苦手・不安	128	32.0
家族の理解	122	30.5
その他	8	2.0

Q13. どのようなサポートがあれば、通学や学びやすいと思いますか。（複数選択可）



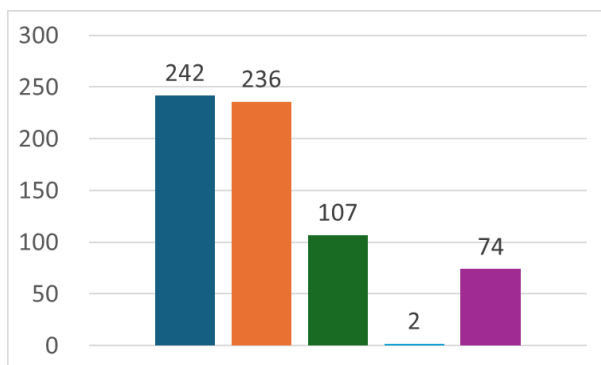
回 答	人数(人)	割合(%)
交通費補助	216	54.0
保育・託児	152	38.0
学習相談	124	31.0
オンライン併用	195	48.8
やさしい日本語・通訳	94	23.5
学び直しの個別ペース	130	32.5
行事費の補助	98	24.5
その他	11	2.8

Q14. 費用について、どの程度の自己負担なら利用が可能と思いますか。



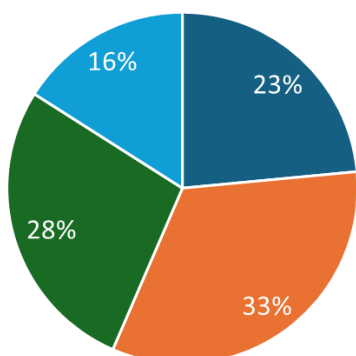
回 答	人数(人)	割合(%)
月 ~1,000円	70	17.5
月 ~3,000円	135	33.7
月 ~5,000円	125	31.3
負担は難しい	70	17.5

Q15. 夜間中学の設置が地域社会に与える効果は何だと思いますか。（複数選択可）



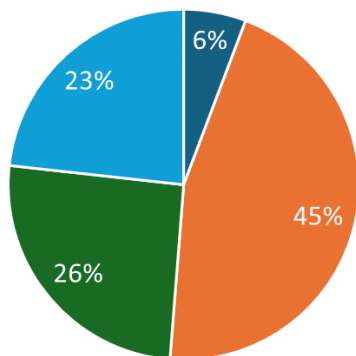
回 答	人数(人)	割合(%)
教育機会の保障	242	60.5
不登校経験者支援	236	59.0
地域の多文化共生	107	26.8
その他	2	0.5
特に効果はない	74	18.5

Q16. 夜間中学は多様な人の学び直しの場となりますが、入学希望者がごく少数の場合でも設置する必要があると思いますか。



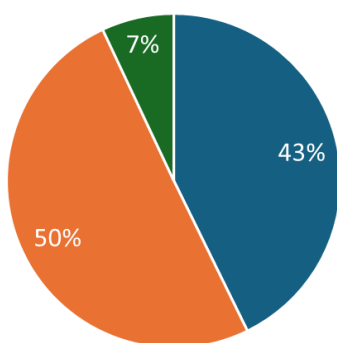
回 答	人数(人)	割合(%)
人数が少なくても設置すべき	94	23.5
ある程度の人数が見込める場合に限って設置すべき	132	33.0
人数が少ないなら他の方法で対応すべき	110	27.5
分からない	64	16.0

Q17. 現在取り組んでいる本県の教育施策には、学力向上、不登校児童生徒への支援、外国人児童生徒への支援、ICT教育など様々あります。夜間中学の設置は、それらと比べてどの程度優先されるべきだと思いますか。



回 答	人数(人)	割合(%)
最優先にすべき	23	5.8
他の施策と同じくらい優先すべき	182	45.4
他の施策を優先すべき	102	25.5
分からない	93	23.3

Q18. 夜間中学の運営にあたり、ボランティアや地域の関係団体の協力を得ることについてどう思いますか。



回 答	人数(人)	割合(%)
賛成	171	42.8
どちらともいえない	201	50.2
反対	28	7.0